

## 「語り合いを通じた親育ちの活動」をすすめるポイント

### 計画・準備・確認事項

- 参加者は？ ・何年生（何歳児）の親が何人ぐらい集まる予定か確認する。
- めあては？ ・活動のめあてを明確にし、活用する資料を決める。
- 進行役は？ ・「進行役」は「回答役」ではない。井戸端会議のように参加者と対等な立場であることが基本であり、保護者による進行が最適である。
- ・子育てについて各自がちがう価値観や経験をもっている。その交流により各自が自分の価値観に気づき、視野を広げて自分の子育てを見つめ直すことがめあてであり、進行役が自分の価値観を押しつけないよう留意する。
  - ・二人でサポートし合いながら共同で進行するのも効果的である。（その姿が共同で子育てを進めていく暗黙のモデルともなる）
  - ・教員、保育士は専門的な立場で参加し、子どもの普段の様子などの情報を提供するとよい。
- 活動時間は？ あいさつ等をのぞき、40～60分間を確保する。
- 実施場所は？ グループで語り合えるだけのゆとりを確保する。狭い部屋や声が響く部屋は他のグループの声で、語り合いに集中しづらい。
- 机・椅子の数も確認しておく。
- 畳や床に座る場合は、机なしでも可だが筆記に難あり。
- 準備物は？ 学習資料（人数分を増し刷り）、筆記用具（予備として）
- 「家庭教育学習資料」は滋賀県学習情報提供システム「におねっと」（<http://www.nionet.jp>）からダウンロードすることもできます。
- 広報は？ チラシの作成、配布も有効。気軽な話し合いであることを強調。
- クチコミが最も効果が高い。その発信役をつくる。

## 当日の進め方(例)

15分間

### グループをつくる

人数は4～6人程度のグループが最適。  
仲間づくりのために、あえて知り合い  
同士にならないようにするとよい。

〔例〕・入り口で番号カードを渡す。

・誕生日順などで一重円になり、4～5人で区切っていく。など  
(次ページ参照)

参加者数	グループ数
～7	1
8～12	2
13～15	3
16～20	4
21～25	5
26～30	6

### 気分を和らげる(アイスブレイキング)

体を動かしたり声を出したりすることで気分をほぐす。

(自己紹介や簡単なゲームなど 次ページ参照)

35分間

### テーマの確認(提案)と例文の朗読

例文は参加者に読んでいただくほうがムードが和らぎやすいので、開始前に依頼するとよい。劇のようにしてもよい。

進行役があえて自分の子育て失敗談から切り出すことも効果的。

### 手引きを参考に進行

### 語り合いにはいる直前で約束事を確認

- ・ここだけの話にする。勝手に他言しない。
- ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。(受け止めあいましょう)
- ・自分だけが長く話し過ぎない。全員の発言を保障する。
- ・発言を強要しない。聞く参加も認める。

10分間

### まとめを、各自で行う

自分の参考となった事を各自が書き留める。

数名に、書き留めたことや感想を発表いただいてもよいが、強要はしない。

「POINT」や資料を元に大切なことを確認しあう。

### 終わりに

学び合ったグループの人の名前をもう一度確かめ合い、お礼の拍手を送りあうなどした後、解散する。

### 終了後

自分の進行をふりかえる。(技術向上につながる)

## グループづくりの例

### 知り合い同士でないグループを作る他の方法

たとえば20人を4人ずつ5グループに分けるならば、まず「5人で集まってください」と呼びかける。この段階ではほぼ知り合い同士で構成されたグループが4つ出来る。

各グループ内でじゃんけんをするなどして、1から5の順位を決めていただく。

各グループの一番の人に挙手いただきその4人で第1グループになっていただく。

こうすることで、親しい者同士でない4人のグループが5つできる。

## アイスブレイキングの例

**肩たたき**(単純であるが気分も体も楽になる)

- ・二人組みになり、一定時間肩たたきをする。
- ・交代する。

**大声ジャンケン自己紹介**(全体が賑やかになり部屋の雰囲気が一気に和らぐ)

- ・あえて「まわりのグループに迷惑になるくらい大きな声で」グループ内でジャンケンして、一位の人だけが自己紹介をする。そのとき、自分に関する一つ初めにつけて自己紹介する。(「 が好きな です」など)
- ・これを同様に3～5分続けるが、再び一位となった人は先程とは別の自分のことを付け足して自己紹介する。
- ・最後に、一度も自己紹介できなかった人に挙手いただき、グループ内または全体の中で自己紹介いただく。

**三角柱自己紹介**(比較的静かな始まりだが、設問によっては気分が和らぐ)

- ・A5の紙を配り図のように折ってもらう。
- ・上から2段目に自分の名前を書いてもらう。
- ・上から3段目にテーマ( )にそったことを書いてもらう。

〔テーマ例〕 子どもの頃のニックネーム

子どもの頃よくした遊びや夢中になっていたこと

子育てしていてうれしかったこと

子育てでつらかったこと

わが子の長所だと思うこと(遠慮なしに書いてもらう)

など、子育てについて語り合おうという雰囲気につながるようなテーマを設定するとよい。

- ・三角柱にし、それを見せながら、テーマについての自分の答えや名前を、伝えてもらう。(名前がずっと見えていると互いに名前を覚えやすい)

